

日本共産党札幌市議会議員 2016年1月号

池田ゆみ

市政事務所だより

〒061-0904

発行：池田ゆみ市政事務所 豊平区豊平4条10丁目2-13高木ビル1階 Tel.818-8367

第4回定例市議会報告



第4回定例議会 市長に政治姿勢を厳しく質す

12月3日、第4回定例議会において、東区選出の太田秀子市議が日本共産党の代表質問に立ち、秋元市長の政治姿勢、保育料問題、マイナンバー問題等について質しました。

戦争でテロはなくせない 対話と平和的な外交手段で

太田市議は戦争法について、「11月13日には、パリで同時多発テロが起こり、その後もインドのホテルなど、世界各地でテロが発生しています。アメリカ国防省は、この13年間で、世界全体でテロによる犠牲者が80倍に増えている事を報告しており、戦争でテロをなくせないことは明らかです。国家間で起こる問題は、武力行使ではなく、徹底した

対話と平和的な外交手段で解決すべき」と訴え、「札幌市民である自衛隊員が法の施行により、武器を持って戦地に行き『殺し殺される』ことにな

なる危機感を持っていないのか」と質しました。

これに対し秋元市長は、「想定されるような事態にならないよう政府に努力を求め。疑問を払拭させる丁寧な説明が必要」と今回も他人事のような答弁をしました。

太田市議は「危機感が足りない。想定される事態が起きれば、本市民が危険にさらされる。国民、道民、市民無視の政府に対し意見するくらいの強い姿勢をもつべきと迫りました。

保育料の激変緩和措置 市独自の継続求める

保育料問題について、太田市議は「札幌の出生率が1・14と低いのは、経済的負担が大きいことが原因。保育料の負担増は人口減少対策に逆行するもの」と指摘。制度変更で保育料が急増した世帯に対する市独自の激変緩和措置について、「9月以降の新入園児にも適用を拡大すべき」と求めました。これに対し板垣副市長は「激変緩和措置は恒久的措置でない」と拒否しました。

保育料問題について、太田市議は「札幌の出生率が1・14と低いのは、経済的負担が大きいことが原因。保育料の負担増は人口減少対策に逆行するもの」と指摘。制度変更で保育料が急増した世帯に対する市独自の激変緩和措置について、「9月以降の新入園児にも適用を拡大すべき」と求めました。これに対し板垣副市長は「激変緩和措置は恒久的措置でない」と拒否しました。

太田市議は「子育て世帯には待ったなしの課題。2年間だけでなく、国が制度を見直すまで、継続して市独自の激変緩和措置を」と訴えました。保育料の再計算と還付については来年になるとの説明に「9月から高い保育料を払い12月もお金の工面をしなければならぬ。支払い困難な世帯からの相談には丁寧に応えるよう」求めました。



こんにちは！
池田ゆみです。



新しい年を迎えました。今年も戦争法廃止の声を大きく、一緒に、憲法と民主主義を守る闘いを広げましょう。

2月中旬より第1回定例会が始まり、今年も議会活動がスタートします。第1回定例会は予算議会となります。昨年に続いて、区民のみならずの願いが市政に届くように頑張っていきます。保育料の事、医療、介護の事、国保料金の引き下げ、道路整備のこと、子育て支援のこと、などなど課題は山積みです。直接の市民の皆さんの声が頼りです。たくさんのご意見や要求を、お寄せ下さい。よろしく願いいたします。





区民要求について交渉・懇談 豊平区民の要求を実現する連絡会

豊平区民の要求を実現する連絡会は11月30日、73項目に渡る2015年度の要望について回答を受け、交渉・懇談を行いました。豊平区からは、文書による回答があり、そのうち、新規要求を中心とした21項目について、担当課長より説明がありました。

子どもの医療費無料化

早く中学校まで

「通院を含め、中学校までの子どもの医療費無料化を」の要求については、平成30年に小学校1年生まで実施するとの回答がありました。

これについて、子育て中のお母さんから、「子どもにアレルギーがあり、病院には定期的にいかなければならず、1回の通院で5千円から8千円とかかることもあり、本当に大変だ。早く中学生までの無料化を進めてほしい」と要望の声が出されました。

平岸自衛隊病院跡地の利用

住民の要望を聞いて

平岸自衛隊病院跡地の利用については、特養老人ホームや保育所、体育館等の要望もありましたが、「現在はそのような建設計画はない」との回答でした。

これについては、「市街地でこれだけまとまった土

地はない。今、計画はなくても将来のために取得しておくべき。

地元、平岸の住民の関心は非常に高い。マンションが建つのか？少年野球ができる野球場がほしいとの声もある」との意見が出され、「区民の要望を聞いて対応してほしい」と強く要望されました。



「99カード」の普及を

一人暮らしの人が救急車を呼んだ時など保険証や既往症などがすぐわかるようにする99カードなどの普及を求めました。「名称は様々であるが市として見守りカードの作成に支援を行っている他、市が発行する『シニア世代のための生活便利帳』には携帯できる緊急連絡カードを付けている。今後も情報を提供していきたい」との回答があり、「区民への周知を徹底してほしい」との声が出されました。

日本共産党市議団

秋元市長に予算要望書を提出

日本共産党札幌市議団は、12月14日、秋元市長に新年度予算に対する要望を行いました。

新年度予算の概要は、都心アクセス道路などの大型公共事業には多額の財源を投じる一方で、市民のくらしや福祉については「財源がない」という冷たいものとなっております。市民のくらし、福祉最優先にした予算にするべきです。

要望項目は98項目に渡り高すぎる国民健康保険料を引き下げること、保育料の

負担軽減、精神障がい者の交通費助成制度を拡充することや、市長が選挙公約で掲げていた子ども医療費の無料化の拡充について迅速に進めるべきと求めました。

8人となった札幌市議団で戦争法廃止やくらし、福祉の問題、平和や安全対策についてなど様々な問題を皆さんと一緒に進めてきました。引き続き、平和を守り、くらし、福祉守る国政、市政をつくるために、力合わせて頑張ります。



お困りことはありませんか？

池田ゆみ市政事務所では、生活相談を行っています。また、「法律事務所」にご協力いただき、月1回の法律相談会も行っています。どなたでも受けられます。一人で悩まずお電話下さい。

1月の法律相談は21日(木)午後2時から。弁護士が対応します(無料です)。

場所：池田ゆみ市政事務所

豊平4条10丁目2-13 高木ビル1階

予約が必要です。電話 818-8367へ